

平成28年 **2月8日**(月)

14時～16時(開場13時30分)

新宿区屋外広告物の
景観誘導推進
啓発イベント

場所

新宿区立新宿文化センター
小ホール (新宿区新宿6-14-1)

定員

200名 (申込不要・先着順)

参加費

無料 (参加の方は当日直接会場へ)

誰かに教えたいくなる

「看板」の話！

地域が取組む景観まちづくり

屋外広告物といっても、その中身はお店の看板、道路の標識、案内サインなど多岐にわたり、あの歌舞伎町のゴジラヘッドも含まれます！

屋外広告物は、景観に悪い面もあれば、新宿の魅力を高める良い面もあります。

今回のイベントでは、全国や区内の取り組みなど、ここでしか聞けない、誰かに教えたいくなる「看板の話」をご紹介します。



地域の方々による日々の活動が
まちを良くしてくれています！

エリアマネジメントを導入する神戸旧居留地
袖看板をバナー型で統一して魅力的！



ゴジラヘッドの誕生秘話！
歌舞伎町はどう変わったか？

問い合わせ先

新宿区都市計画部景観と地区計画課
電話 **03-5273-3831** (景観担当)

主催 **新宿区**

新宿区の景観まちづくり

新宿区は、個性的で多様な景観を区の魅力、また貴重な財産と考えています。そのため、今後もさらに地域の特性をいかした景観まちづくりの推進が必要になっていきます。景観形成において屋外広告物は重要な要素です。

新宿区は、平成27年6月から、新たに屋外広告物に関する取組みを開始しました。より多くの皆さんに景観まちづくりについて知ってもらい、今後も区民のみなさんと新宿にふさわしい景観まちづくりを進めていきます。

日時

平成28年2月8日(月)
14時～16時(開場13時30分)

定員

200名(申込不要・先着順)

参加費

無料(参加の方は当日直接会場へ)

場所

新宿区立新宿文化センター小ホール(新宿区新宿6-14-1)

会場地図 / 交通のご案内



都営大江戸線・東京メトロ副都心線「東新宿駅」A3出口より徒歩5分
東京メトロ丸の内線・副都心線「新宿三丁目駅」E1出口より徒歩7分
都営新宿線「新宿三丁目駅」C7出口より徒歩10分
JR・小田急・京王線「新宿駅」より徒歩15分
西武新宿線「西武新宿駅」より徒歩15分
※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

プログラム

- 13:30 開場
- 14:00 開会
- 14:05 第1部：講話(最新の取組みについて)
武山良三「看板で伝える、お店の魅力、まちの魅力」
後藤春彦「屋外広告物の活用によるまちのマネジメント」
- 第2部：プレゼンテーション(区内の取組みについて)
漢那茂明「道路上の置き看板などの合同監察」
太田圭昭「新宿東宝ビルのごジラヘッドについて」
- 15:20 第3部：登壇者らによるトークディスカッション
- 16:00 閉会

※プログラムは変更になる場合があります。

登壇者のプロフィール

(順不同・敬称略)

第1部



武山 良三

(たけやま りょうぞう)
富山大学 教授

1956年大阪府出身。現在、富山大学芸術文化学部学部長、日本サイン学会会長、公益社団法人日本サインデザイン協会常任理事。全日本屋外広告業団体連合会学術顧問、『signs』編集長。専門はソーシャルデザイン。景観まちづくりの調査研究や提案など。



後藤 春彦

(ごとう はるひこ)
早稲田大学 教授

1957年富山県出身。工学博士。早稲田大学大学院博士課程修了。三重大学工学部助教授、早稲田大学理工学部助教授等を経て1998年から同教授。2003年から新宿区景観まちづくり審議会委員を務め、現在、副会長。日本建築学会賞(論文)、日本都市計画学会賞(計画設計賞)、土地活用モデル大賞(国土交通大臣賞)、グッドデザイン賞、SDA賞入賞ほか受賞。

第2部

- 漢那 茂明(かななしげあき) / 西新宿一丁目町会
西新宿一丁目町会理事及び交通部長。地域の関連団体、関係行政機関と月に2回是正指導を行っている。
- 太田 圭昭(おおた よしあき) / 東宝株式会社
東宝株式会社不動産経営部次長。新宿東宝ビルの開発を担当。地元商店街や新宿区と連携し、歌舞伎町のまちづくりに取組んだ。

問い合わせ先

新宿区都市計画部景観と地区計画課
電話：03-5273-3831(景観担当)